

バージョンアップする

はじめに

- バージョンアップには約95分かかります。(ディスク1:約35分/ディスク2:約60分)
- 走行中でもバージョンアップできます。ただし、ディスクの交換時は安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いて行ってください。なお、走行中の振動などでバージョンアップに時間がかかることがあります。
- アイドリングストップ搭載車の場合、バージョンアップ作業前にアイドリングストップ機能をOFFにしてください。
- アイドリングが禁止されている地域がありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけずに長時間ACCをONにしてバージョンアップを行うと、バッテリーが上がる原因となります。
- バージョンアップを開始すると、完了するまでナビゲーションの機能(ナビ機能・オーディオ機能)はご使用になれません。
- ETC車載器を接続している場合、バージョンアップ中は、料金案内、料金履歴などの音声案内はETC車載器より行われます。
- 更新作業中、ごくまれに「HDDが異常です」と表示されることがありますが、故障ではありません。数分後に更新作業を再開します。バージョンアップ中にモニターを開く場合は、画面の「OPEN」を選んでください。
- バージョンアップ中は、本体の「TILT」を押してもモニターは開きません。
- 「OPEN」が表示されていないときは、モニターを開くことはできません。

1 エンジンをかけ(またはACCをONにして)、更新セットアップ用SDメモリーカードをナビゲーションに挿入する

- すでにSDメモリーカードが入っていないか確認してください。

2 車のエンジンを切る (ACCをOFFにする)

3 エンジンをかけ、ディスク挿入のメッセージが表示されたら、年度更新用地図ディスク1をナビゲーションに挿入する

- すでにディスクが入っていないか確認してください。

4 再起動を選ぶ

- モニターが開いた状態のまま「再起動」を選んでください。再起動すると、モニターは自動的に閉じます。

5 開始するを選ぶ

- ディスク1の読み込みを開始します。(約35分)

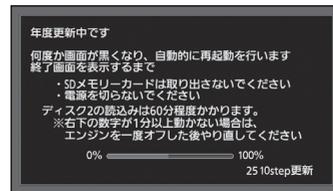
6 年度更新用地図ディスク1を取り出し、年度更新用地図ディスク2を挿入する

- ディスク1が入った状態でディスク2を挿入すると、ディスクを傷つけるおそれがあります。

更新セットアップ用SDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。

7 再起動を選ぶ

- ディスク2の読み込みを開始します。(約60分)
- モニターが開いた状態のまま「再起動」を選んでください。再起動すると、モニターは自動的に閉じます。
- 更新内容によっては、年度更新中画面(下記)を2回に分けて表示して、更新作業を行う場合があります。
- ディスク2の読み込み終了後、自動で再起動し、ソフトウェアの更新を行います。



(年度更新中の画面)

8 更新セットアップ用SDメモリーカードと年度更新用地図ディスク2を取り出す

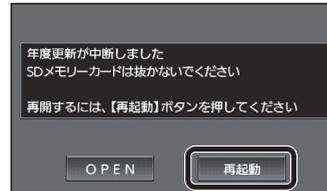
9 再起動を選ぶ

- 更新された地図をご使用になれます。
- インテリジェントルートのデータがある場合は、データの変換を行います。(数分かかる場合があります。)

お知らせ

- 走行中の振動やディスクに生じた結露などでディスクの読み込みができない場合、バージョンアップが中断されることがあります。以下の操作でバージョンアップを再開してください。

再起動を選ぶ



- ナビゲーションを再起動し、バージョンアップが再開されます。
- バージョンアップが再開できない場合は、ディスクを取り出して、ディスクに傷や汚れ、結露がないかを確認してください。

バージョンアップを中断するには

エンジンを切る (ACCをOFFにする)

バージョンアップが完了するまで、更新セットアップ用SDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。

バージョンアップを再開するには

- 1 エンジンかける
 - 途中再開画面が表示されます。
- 2 現在地を押す
 - バージョンアップが再開されます。

バージョンを確認する

1 「MENU」→情報メニュー→システム情報→拡張ユニット情報を選ぶ

バージョンを確認する



- 「バージョン V14.05. **」と表示されていることを確認してください。(※には数字が入ります。)

地図データベースについて

- いかなる形式においても著作者に無断でこの全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、(一財)日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 13-113) ©2013 一般財団法人 日本デジタル道路地図協会 2013年3月発行データ使用
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、5万分の1地形図、2万5千分の1地形図、1万分の1地形図及び数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しました。(測量法第30条に基づく成果使用承認 承認番号 平25情使、第460-003号)
- この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- 本地図データは、(一財)日本デジタル道路地図協会、(株)ゼンリン、(株)昭文社、(株)トヨタマップマスターの地理情報に基づいて、パナソニック(株)が2014年7月に作成したものです。
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものをしています。
- この地図に使用している交通規制データは、2013年10月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。
- この地図に使用している交通規制データを無断で複製複製、加工または改変することはできません。
- この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータに基づき作成したものをしています。
- この地図に使用しているボトルネック踏切データは、国土交通省のデータに基づき作成したものをしています。
- 広域避難場所は、国際航業(株)が各自治体の2013年8月時点の防災情報に基づき作成したものをしています。

高速・有料道路料金について

- 案内される金額は、現金払いの場合の料金です。割引・増税などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。

公開電話番号および登録者のデータについて

- (株)トヨタマップマスターが2014年3月版ハローページ(個人・法人含む)および2014年1月版タウンページに収録の情報に基づいて作成した約2390万件のデータを使用しています。

電話番号検索について

- IP電話(050-XXX)も電話番号検索の対象となりました。

© パナソニック(株) 2014

© (株)ゼンリン&(株)トヨタマップマスター&(株)昭文社&国際航業(株) 2014